

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 シェイクアウト訓練事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内 2746)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 186 千円 (前年度予算額：121 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 121 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 121 |
| 要求額 | 186 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 186 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されており、また、岐阜県には多くの活断層があり、内陸型地震はいつ、どこで発生してもおかしくない状況にあると言われている。このような中、地震による被害を軽減し、県民の安全を守るためには、発災時に自助の行動を促す効果的な防災訓練の実施と、その参加者を増やすことが求められる。

シェイクアウト訓練は、あらかじめ訓練日時を指定して、同時刻に一斉に身を守る行動をとることにより、「命を守る」ことの意識づけに有効な訓練と考えられる。また、この訓練形態は、団体や個人が登録を行うことで参加の意思表示を示し、それぞれいる場所で手軽に実施が可能であることから、多くの参加者が見込まれる。

そのため、平成25年度から実施しており、今年度においても、県総合防災訓練の実施日である8月30日(日)の午前10時を標準日時とし、シェイクアウト訓練を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治体主催の訓練が減少したことから、セブンイレブンやイオン等の商業施設において、チラシ配布をおこない、幅広く啓発を行ったところである。

これらのことから、県民を対象に様々な自然災害発生時における瞬時の行動パターンを身につけることを主眼とした災害対応型防災訓練「県民一斉防災訓練『ぎふシェイクアウト』」を、令和3年度も継続して実施する。

(2) 事業内容

<令和3年度ぎふシェイクアウト(案)>

日時 令和3年8月29日(日)

主催 岐阜県

協力 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(略称:※ShakeOut 提唱会議)事務局

※各自治体等のシェイクアウト訓練を支援する団体。これまで訓練を実施した自治体は、この事務局に参加者受付、情報提供を依頼。

想定 令和3年8月29日(日)午前10時00分、岐阜県内活断層を震源とする地震が発生。

内容 地震による揺れを感じたら(想定)、約1分間、身を守る方法として「DROP(姿勢を低くする)」「COVER(頭や体を守る)」「HOLD ON(揺れが収まるまで待つ)」を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県主催事業のため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|------------------|
| 需用費 | 65 | 印刷製本費 |
| 旅費 | 45 | 訓練参加協力依頼 |
| 委託料 | 76 | 訓練参加申込ホームページ制作業務 |
| 合計 | 186 | |

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

9月1日の「防災の日」、又は10月28日の「岐阜県地震防災の日」等に、県民が参加する機会として、個人、団体を対象としたシェイクアウト訓練を実施し、県民や企業等の防災リテラシーの向上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目標 | 達成率 |
|---------------|-------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| | | | | (前々年度末時点) | | |
| ぎふシェイクアウト参加者数 | 未開催 (H) | 22万人 (H27) | 38万人 (R1) | 39万人 (R2) | 40万人 (R3) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

| |
|--|
| |
|--|

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

7月1日より参加者の募集を開始し、学校や企業、社会福祉施設などに参加啓発を行った結果、約 の団体等、約 万人の参加者の申込みがあった。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

学校や企業、社会福祉施設などに参加啓発を行った結果、約 の団体等、約 万人が訓練に参加し、地震発生時の瞬時の行動を身につけることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | シェイクアウト訓練は、多くの県民が同時刻に一斉に身を守る行動をとることにより、「命を守る」ことの意識づけや、命を守る行動を身に着けることができる有効な訓練として、必要性が高い。 |
| ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 県民の防災意識が高まっており、目標の38万人を上回る成果があった。 |
| ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 幅広い世代、団体にシェイクアウト訓練に参加いただけるよう、県庁関係課や市町村へ協力を依頼することで、広報啓発の効率化を図り、参加者数を増加することができた。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 個人や地域の自主防災組織等の参加が少ない、また、医療・福祉関係機関の参加者数が減少傾向にあるため、住民や機関に対する訓練の周知啓発をより実施していく必要がある。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ渦においても、地震は発生することから、災害時における瞬時の行動パターンを身につける災害対応型防災訓練として、地震災害を想定した命を守る安全行動を実践する訓練を行い、県が推進していく「災害から命を守る岐阜県民運動」として防災意識の高揚を図る。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【 課】 |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果 など | |